

三陸やまだ漁協への補助は

トラウトサーモン試験養殖設備 導入など



昆 清 議長
(新 生 会)



トラウトサーモン養殖に取り組む三陸やまだ漁協

問 三陸やまだ漁協に対して、トラウトサーモン試験養殖への補助金を計画していると思うが、現在どのような進捗状況であるか。また、三陸やまだ漁協に対する補助金

は、ほかにもあると思うが、何があるのか伺う。
佐藤町長 トラウトサーモンの試験養殖の実施については、2月26日に開催された同漁協の理事会において正式に決定した。町ではその結果を受け、設備導入費用の一部を補助する方向で準備を進めている。その他、アワビやナマコの種苗購入費用や漁業者が加入する各種共済掛金、漁獲物の品質向上を図るための設備導入費用などに対して補助している。

磯焼け対策は

調査・研究を要望

問 洋野町や久慈市、大船渡市においては、磯焼け対策として、ウニを冬期でも出荷出来る取り組みを図り、3月に出荷を目指すようだが、町は磯焼け対策についてどのように考えているのか。
町長 震災以降、本町ではアワビやウニの水揚げの低迷が続いており、磯

焼け対策など漁場環境の改善が喫緊の課題である。現在、県では藻場回復の行動計画となる「岩手県藻場ビジョン」の策定作業を進めているほか、磯焼け対策の一環として、間引きウニを畜養・出荷する実証事業をスタートさせたところである。町としても、この

織笠漁港の段差解消は

早急に補修する

問 国道45号から織笠漁港に行く南側の入口について、完成後間もないが、段差が激しく、車が破損する危険があり、早急に解消すべきと考えますが、町は確認しているのか伺う。

町長 織笠漁港南側入口の段差については、町でも確認しており、隣接する展望広場の整備工事の中で補修することになっている。

その他の質問

- ◆ 当町の津波対策は
- ◆ 小中学校のパソコン導入による健康への影響は
- ◆ 空き地解消は
- ◆ 高齢者施設の建設は
- ◆ 定住対策の取り組みは
- ◆ 災害弱者の避難計画は